

教員研修専門部会

【プロジェクト名】特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業—②

1 プロジェクトの目的・概要

特別支援教育・教育相談の教員研修に関連する事業②は、平成 29 年度末に作成された「佐賀県公立学校の養護教諭、養護助教諭、養護主幹教諭としての資質の向上に関する指標」で、健康相談やコミュニケーションの資質・能力が挙げられたことに鑑み、養護教諭等の教育相談力向上を目的として立ち上げられた。新たに「養護教諭等教育相談力向上研修プログラム」として平成 30 年から実施されている。

講義と事例検討会から構成され、実施時間は 1 回 2 時間である。毎回、教育場面でも広く援用されている家族療法のいくつかのキーワードについて理解を深める講義と、家族療法に依拠した事例検討を行う。

2 30 年度の実施実績

平成 30 年度は 3 回実施し、それぞれ実施の約 1 ヶ月前から参加者を募集した。参加者は小学校、中学校、特別支援学校の養護教諭と教育センタースタッフ、それに佐賀大学教員であった。検討する事例は、発達障害のある子供との関わりや、心身症・不登校への支援についてなど、保護者との連携も含め幅広かった。いずれも場所は佐賀県教育センターであった。

		参加者数	前半	後半
1	平成 30 年 10 月 27 日	13 名	家族療法の特徴と問題観、変化観	事例検討会
2	平成 31 年 2 月 2 日	18 名	孤独の理解と外在化技法	事例検討会
3	平成 31 年 3 月 16 日	8 名	解決志向のアプローチ	事例検討会

3 2019 年度の実施計画

昨年度は教員養成専門部会の事業に位置づけられていたが、見直しを経て、今年度は教員研修専門部会の一事業に位置づける。

今年度も 3 回を計画している。また、昨年度は第 3 回が参加しにくい時期であったため、今年度はより負担なく参加できる時期を選定していく。

養護教諭等としているため、養護教諭、養護助教諭、養護主幹教諭だけでなく、対象を限定しすぎず、広く参加募集することも計画している。